

会長による閉会の辞

ジョン・ケニー
RI会長

スコットランド出身の作家、ロバート・ウイリアム・サービスは、かつて「約束をすることは借りをつくることである」と言いました。

今、この会場にいる私たち全員が、約束をしました。ロータリアンとなったその日に、ロータリーのピンを身に付けたその日に、私たちは正直であること、そして倫理に従って生きることを約束しました。可能な限り他者を助けることを約束しました。また、世界をよりよい場所にするためにできる限りを尽くすと約束しました。つまり、私たちは「超私の奉仕」に徹することを約束したのです。

これがロータリアンとして私たちが誓った約束です。私生活において、クラブにおいて、また、自らの職業と地域社会においても、私たち一人ひとりが、人とのあらゆる触れ合いにおいて日々守らなければならない約束です。この約束はロータリーを代表するものです。どのような場所にしようとも、どのような行動を取ろうとも、ロータリーのピンを付けている限り、それを見る人の目に、私たちの姿はロータリーそのものであると映ります。私たち個人の言動は、ロータリーの言動とみなされ、その視点から評価を受けることになるのです。信頼を築くには生涯をかけなければならないが、失うときは一瞬であると言いますから、この責任を軽んじてはなりません。

ここにおいでの方皆さんには、ロータリーの荣誉と信頼を支えるという大きな責務が待ち受けています。地区ガバナー・エレクトである皆さんは、7月1日から地区で国際ロータリーを公に代表し、エバンストンにいるシニアリーダーと世界中の120万人のロータリアン全員とをつなぐ重要な役割を果たします。皆さんなしでは、ロータリーは、それぞれのクラブが自分たちのやりたいことをするだけで終わってしまうことになるでしょう。皆さんという存在があってこそ、私たちは力を合わせ、最も効果的なところへ力を結集させることによって、最大の成果を生み出すことができるのです。

毎年、ロータリー指導者のバトンが次期ロータリー指導者へと引き継がれます。ポール・ハリスが後継者に渡したバトンが、もうすぐ皆さんに回ってきます。ロータリーの将来は、まさに地区ガバナー・エレクトである皆さんの手の中にあるのです。ですから、私たちはここサンディエゴに集い、一週間で共にしたのです。皆さんは、入りて学ばれ、まもなく出でて奉仕されることとなります。皆さんは今、幾世代にもわたって受け継がれてきたロータリーの指導者たちの仲間入りをされたのです。情熱を新たに、新鮮な考えをもたらし、先人の功績を土台として、よりよい地区と堅固なクラブを築き、後継者のためにそれを残すこと、これが皆さんの仕事です。

ロータリアンである私たちにできる最も重要な奉仕とは、ある特定の年度に特定の役職を得て行う仕事ではなく、クラブを通じて日々行う奉仕だと、私は心から信じております。指導者としての役職を経験することによって、ロータリーに対する理解と敬意が深まり、ロータリーの奉仕をさらに充実させるための懸け橋となる機会に恵まれるのは、事実です。しかし、自らのクラブで毎週の例会に出席し、仲間とともにプロジェクトの計画を立て、その実施に力を注ぐことこそが、ロータリーを成功へと導き、ロータリーの未来を形づくるのです。来るロータリー年度の皆さんの仕事は、クラブを支え、強化するとともに、温かで魅力的な雰囲気づくりを奨励し、親睦や友情が育まれているか、スムーズに機能しているか、よく奉仕しているかを見守ることにあります。

今日この場で私たちは、ロータリーの真髄であるクラブの大切さを理解し、これを認識しなければなりません。クラブが始めなければ、何も始まらないのだと、私は申し上げたい。ここサンディエゴで、私たちがどれほど立

派な計画を立て、多くの感銘を受け、新しいアイデアを得たとしても、私たちがそれをクラブに伝え、指導し、意欲を喚起できなければ、何一つ実現することはできません。クラブは、現在もこの先も変わることなく、ロータリーのあらゆる面において最も重要な部分です。ですからクラブとその成功は、過去、現在、そしてこれからの地区ガバナーすべてが焦点を当てるべき対象なのです。

私は、クラブが実施する奉仕活動をロータリーのリーダーとして命令するよう皆さんに申し上げているのでは、決してありません。クラブは、ロータリーを通じて奉仕したいという意思の下に集まった事業や専門職務に携わるボランティアから成り立っているということ、私たちは肝に銘じておく必要があります。私たちの仕事は、そのクラブの奉仕を指図することではなく、助言を提供し、導くこと、そして最も効果的な形で能率よく奉仕が行われるのを見届けることです。これは、思慮と慎重さ、そして心配りが必要とされる仕事です。

地区のすべてのクラブが目標を立て、その達成に向けて努力するよう導き、また、すべてのロータリアンがロータリー年度の目標とその達成方法を理解していることを確かめることも、これからの皆さんの仕事です。ロシアの劇作家、チェーホフが書いたように、「『進め!』と叫ぶなら、どちらの方向に進むべきかも必ず明らかにしなければならない」のです。

この一週間、皆さんに多くのことを学んでいただけたことを願っております。これから何が待ち受けているのかを知り、これから皆さんが成すことが将来に大きな影響を与えていくことをご理解いただけたのではないかと思います。世界中のいたるところでロータリーがどれだけ多くを成し遂げ、現在もそれを続けていることもお分かりいただけたことでしょう。また、ロータリーにはまだやらなければならない仕事がたくさん残されているという重要な事実と、それをやり遂げるロータリーの真の力も実感されたことでしょう。そして何より、多くのことが皆さん自身にかかっていることをおわかりいただけたことと思います。

ガバナーの職に就くロータリー年度は、まさに光陰矢の如く過ぎ去ってしまいます。1月の終わりにあつて、7月まではまだ余裕があると思われるかもしれませんが、あつという間に時は経ちます。これを踏まえ、残された時間を大切に、明朝の旅立ちとともに持ち帰るエネルギーをどうか無駄にされることのないようお願いいたします。計画と準備の共同作業に向けて、この時間とエネルギーを賢明に使ってください。また、地区内のクラブと次期クラブ会長について知るようにしてください。

新しくロータリーを塗り替えるのではなく、豊かな経験を備えた地区の諸先輩から貴重な教を学んでください。明日への最良の備えは、今日すべきことを精一杯やることです。ですから、来年度を思うあまりに今年度を軽んじるようなことのないようお願いいたします。

皆さん一人ひとりを待ち受けている素晴らしい機会には、大きな責任も伴います。皆さんが責任を持ってご自分の役職を引き受け、それに恥じることはないよう精一杯精進していく覚悟であることを、私は知っています。さらには、皆さんがこの仕事の重要性を理解しておられることも存じております。ジョン・ボローは次のように言いました。「本当に価値あるものを手に入れるには、必ず、労働や忍耐や愛情や自己犠牲という代価を払わなければならない。紙幣や手形ではなく、真の奉仕という黄金が必要とされるのだ」この言葉は真実です。

朋友の皆さんに申し上げます。「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と。これからの準備期間中、ガバナー在任中、そしてロータリアンであり続ける限り、ロータリーの未来はいつも、あなたの手の中にあります。ロータリーの役職は1年限りですが、ロータリアンとしての役割は生涯終わることはない、これまでも重ねて申し上げてきました。

ロータリーとは決して普遍的な概念ではなく、誰に入会を認めるかを厳選する組織であり、それが私たちのあるべき姿です。ロータリアンとは、賢明な判断力と優れた技量を備え、誠実さをもって立派な行動を取る気骨ある人物でなければならないのです。

ロータリーが105年間の長きにわたり栄えてきたのは、私たちが超我の奉仕を生き、「四つのテスト」を実践してきたからです。ロータリーの発展のもう一つの理由は、最初のロータリー・クラブが奉仕ではなく親睦に基づいて結成されたという事実を、決して忘れたことがなかったからです。最初の4人のロータリアンが2度目の会合を開こうと考えたのは、シカゴという不案内な都市で味わった交流の温もりが忘れられなかったからでした。私たちもまた、ここサンディエゴで、彼らと同じ温もりを交わすことができたのではないのでしょうか。

このロータリーの親睦の集いにお招きいただき、ありがとうございました。そして、皆さんのご奉仕に感謝し、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あることを、今一度お伝えし、閉会のご挨拶とさせていただきます。